

❶ 小中学生向け教材案

タイトル案:

「見えないけど大きな問題～PM2.5・マイクロプラスチック・CO₂ってなんだろう？」

■ 1時間目:目に見える vs 見えない環境問題

❷ 導入ワーク:クイズ「どっちがわかりやすい?」

問題	A	B	答え
空がスモッグで白くなった	<input type="radio"/>	A	
海の水にプラスチックが溶けている	<input type="radio"/>	A	Aの方がすぐにわかる

▶ 先生の説明:「人は“目に見えること”にはすぐに反応できる。でも“見えないもの”には危機感をもちにくいんだ。」

■ 2時間目:PM2.5で青空が戻った北京の話

❸ スライドや動画で紹介:

- ・ 北京オリンピック前に自動車を止めたら、青空が戻った
- ・ 1週間で効果が出た

❹ 感想共有:

- ・ 「すぐ変わるならやってみたいと思った」
- ・ 「日本でもできるのかな？」

■ 3時間目:CO₂はどうして問題なの?

❺ わかりやすく説明:

- ・ CO₂自体は毒じゃないけど、たくさん出すと地球が暑くなる
- ・ 暑くなると:
 - 台風が強くなる
 - 水不足になる
 - 作物が育ちにくくなる

❻ 活動:「2030年の天気を想像してみよう」

- 40度の日が増える
- 雨が集中して降る
- 自分の街のハザードマップを見てみよう

■ 4時間目：マイクロプラスチックって何？

⌚ 写真や模型で見せる：

- 小さなプラスチックが魚の中から出てきた
- 雲の中、雪の中からも見つかっている
- 人の血液にもあることがわかつてきた

👤 ディスカッション：

- どうしてこんな小さなもののが大問題なの？
- 自分たちにできることって？

■ まとめ：じゃあ自分にできることって何だろう？

💡 例：

- ごみを減らす、リサイクルをがんばる
- 電気を大切に使う（エアコンの温度、照明）
- 近くに行くなら車じゃなくて歩く・自転車に
- 家族で「もったいない」を話す

■ 最後のメッセージ：

「地球の問題ってすごく大きいけど、
小さな行動がつながれば、未来は変えられる。
今、自分ができることを見つけてみよう。」

📘 教材化・プリント例（必要なら PDF 化します）

- イラスト入りのワークシート
- 子ども用語でやさしく解説
- 家族で考える宿題つき（「おうちの CO₂チェックシート」など）